

# 令和3年度 清水中学校校区 小・中連携研修会



日時：令和3年6月14日（月）

14：15～16：40

場所：鹿児島市立大龍小学校

## 令和3年度 清水中学校区小・中連携研修会（大龍小会場） 実施要項

1 趣 旨 地域における小学校と中学校が9年間で子どもを育てるという視点に立って、相互に連携を図った教育課程編成や学習指導、生徒指導等の在り方についての実践的な研修を行い、児童生徒の「育ち」と「学び」の適時性と連続性を重視した教育活動を展開するとともに、小・中学校相互の指導方法・内容等について視野を広げ、教師の指導力の向上を図る。

2 日 時 令和3年6月14日（月） 14時15分～16時40分  
 （受付：14時00分～14時15分）

3 場 所 大龍小学校（各教室） ※ 運営は当番校である大龍小学校職員が行う。  
 ※ 各分科会での進行、司会、記録は分担して行う。

4 対象者 大龍小学校、清水小学校、清水中学校、玉龍中学校の教職員

### 5 日 程

時 間	研 修 内 容
14:00～14:15	受 付（職員玄関）
14:15～15:00	授業参観（各教室）
15:00～15:25	分科会受付（各分科会教室）
15:25～16:25	分 科 会 (1) 開会のことば (2) 司会、記録、進行、指導助言者の紹介 (3) 各校職員の紹介（名簿にて） (4) 各学校の現状と課題 (5) 情報交換並びに話合いの柱に沿っての協議 (6) 指導・助言(10分) (7) 閉会のことば
16:25～16:35	準 備 等
16:35～16:40	校内放送による全体会（場所：各分科会教室） 閉会のあいさつ（大龍小学校 教頭 福永慎一郎）

## 6 分科会について

### (1) 割り当て

分科会	進行	司会	記録	指導助言者	会場
生徒指導部会	(大龍小)	(清水中)	(清水小)	小園俊介 清水小校長	4年1組
学習指導部会	(大龍小)	(清水小)	(清水中)	脇 正博 玉龍中教頭	4年2組
特別支援教育部会	(大龍小)	(清水中)	(清水小)	西園香緒利 大龍小校長	5年1組
保健・給食指導部会	(大龍小)	(清水小)	(清水中)	竹之下浩徳 清水中校長	6年1組 6年2組 (養護教諭)

### (2) 研修内容

分科会	研修内容 (例)
生徒指導部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 生徒指導上の現状と課題</li> <li>イ ネットトラブルの事例と対処</li> <li>ウ 不登校（不登校傾向）の児童生徒の保護者との連携</li> <li>エ 各校における風紀面のルール等に関する取組（中1ギャップ防止策）</li> </ul>
学習指導部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 学習指導の現状と課題</li> <li>イ 教育の情報化の取組</li> <li>ウ キャリア教育</li> <li>エ 小・中の共通実践事項の確認</li> </ul>
特別支援教育部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 特別支援学級の現状と取組</li> <li>イ 通常学級における特別支援を要する児童生徒への指導の在り方</li> </ul>
保健・給食指導部会	<ul style="list-style-type: none"> <li>ア 基本的生活習慣の共通実践事項</li> <li>イ 感染症対策への取組状況</li> <li>ウ 給食指導における中1ギャップ防止策</li> </ul>

# 令和3年度清水中校区 小・中連携研修会 (R3.6.14 於:大龍小学校) 各分科会 協議 まとめ

## 【学習指導】

<b>1 書く活動について</b>
清水小・・・現6年生は表現することに自信をもっていない。表現することが苦手。 現教科書では、書く活動が増え、文章の読み取りが減っている。 大龍小・・・単元を通して、書く活動か、対話的な活動を中心にするのか計画を立てている。 清水中・・・書く指示が大変。生活の記録は書くべきものを書いてない状態。 玉龍中・・・考えをまとめて相手に伝える「書く時間」の確保がされているか。
<b>2 学力の現状について</b>
清水小・・・中学入学時の学力が低下傾向にある。小学校で復習をしっかりとやっておくべき。 玉龍中・・・子供たちの学びの時間・質の確保が少なくなっている。全体として下がっている。なぜ、勉強しないといけないのか、しっかりと考えないといけない。
<b>3 家庭学習について</b>
清水小・・・宅習2ページ。よい例を見せて、真似をさせる。 清水中・・・プリントの活用。頑張してほしい子ほど、宅習帳に取り組まない。 家庭学習に取り組ませるには、どうしたらよいのか。 玉龍中・・・60分で終わらせる。60分家庭学習。学習習慣+学力
<b>4 情報教育について</b>
● つながりにくい。全体共有すると止まってしまう。 ● 担任の意識・姿勢で変わっていく。 ● 中学校のIDへ変更されていないので、使用できない状況である。

### <指導助言>

- ICTの現状 → ICT推進センターの改善待ち。
- 考えたことをいかに表現するか。書くスピード、書く練習、ノート指導等、小さい取組の積み重ね。
- 家庭学習 → どういう家庭学習がいいのか。手の運動にならないように、点検とコメントも入れる。
- キャリア教育の柱として、なぜ、勉強するのか考える。

### <まとめと今後に向けて>

- ◎ 「書く」ことへの抵抗を減らす（慣れさせる）活動を工夫して行っていく。
- ◎ 子供たちの自主的な学習につながるよう、「なぜ、勉強するのか」を私たち教師も考え、子供たちにも考えさせる必要がある。
- ◎ 学ぶことの意欲を向上させるとともに、学力の確実な定着のために、今後も『わかる授業』の推進を図る。
- ◎ 家庭学習の見届けを確実にいき、習慣化につながるよう引き続き対策を講じていく。

## 【生徒指導】

### 1 メディア（20時以降電源OFF）について

清水小・・・PTAで決めてお知らせしているが、その後の働きかけが必要  
大龍小・・・隔年5、6年が携帯教室を実施している。  
ゲーム依存は、病院での治療が必要であるとのこと等を学習した。  
清水中・・・情報モラル教室を小学校でやってはどうか。  
玉龍中・・・基本禁止。しかし、ゲームをしすぎている子もいる。

### 2 スマホの正しい使い方について

- 発達段階が無視されている現状
- 「スマホ脳」「ブルーライト」等、保護者が学ぶ必要がある。  
大龍小・・・日記から、スマホを使っている現状がうかがえる。  
清水中・・・所持率50%オーバー  
玉龍中・・・部活等で自由に使っている。保護者が放任している。

### 3 掃除の仕方について

清水小・・・学年初めにオリエンテーションをしている。  
大龍小・・・担当教師が指導。トイレの掃除方法を、DVD視聴により学習する。  
清水中・・・ほうきの使い方、雑巾の使い方等、基本を指導  
玉龍中・・・教室以外は、縦割り。3年生が指導役

#### <指導助言>

- 掃除の仕方は、小学校でもしっかりと取り組む。
  - 共通理解、共通実践の見届け（一時徹底）
  - 問題行動への対処 ⇒ 魅力ある学級（学校）経営
    - ① 子供にとってわかる・できる授業づくり
    - ② 集団づくり
    - ③ 人間関係づくり
- （提案）  
メディア対策は、共通で取り組むことが必要 ⇒ 場の設定

#### <まとめと今後に向けて>

- ◎ メディアとの付き合い方、スマホの使い方については、保護者の理解・協力が必要不可欠である。親子で学べるメディア教室の開催など、親子一緒に学ぶ場の設定を検討したい。
- ◎ 掃除の仕方（道具の使い方、作業の流れ等）を小学生のうちに確実に身に付けるよう指導する。→ 自主的なボランティア活動へ繋がる。
- ◎ ①子供にとってわかる・できる授業づくり  
②集団づくり  
③人間関係づくり  
を意識し、実践していく。

## 【特別支援教育】

### 1 学年や発達段階の違う子どもたちへの授業の進め方について

清水小…ロイロノートを活用し、児童が自分で学習を進めている。  
(児童がロイロノートで回答し、担任が丸付けをする。)  
大龍小…教室をカーテンで仕切り、児童が集中できるようにしている。  
清水中…一人一人が学習に集中できるよう、パーテーションで仕切っている。  
玉龍中…タブレットを使い、単語練習ができるアプリを活用している。

### 2 小学校から中学校へのスムーズな引継ぎについて

- 児童の卒業時までの学習の記録や状態が分かるものを引き継ぐ。
    - ・ これまでの学習ノートや学習の記録 (何がどの程度できるのか。)
    - ・ 個別の支援計画・個別の指導計画
  - 教師同士がつながりをもつ
    - ・ 入学前に担任同士が面談を行う。
- ※ 清水中とは既に実施しているが、玉龍中とはできていない。  
→ 今後の実施について早急に検討が必要。

### 3 不登校状況にある、支援の必要な児童・生徒への働きかけについて

- 保護者とのつながりが無くならないようにする。
  - ・ 毎日出欠の連絡を取る。
  - ・ 週に一回は家庭訪問をして様子をうかがう。
  - ・ 授業プリントや課題、通信等を渡す。(週に一回)
- 支援・相談機関の紹介をする。
  - ・ 児童生徒・保護者へのカウンセリング
  - ・ デイサービス利用
  - ・ 自宅への学習支援員の派遣 等

### 4 自立活動の内容や実施方法について

大龍小…毎日、帯で自立活動の時間を設定している。(1校時の15分程度)  
交流学級での様子を観察し、児童に必要な活動内容を設定している。  
清水中…個に応じて、生活単元学習を組んでいる。  
授業の中で、必要に応じてコミュニケーションに関する指導をしている。

#### <指導助言>

- 支援学級担任が一人で抱え込まないよう、交流担や管理職、養教、専科などいろいろな先生と関わり、連携していく必要がある。
- 家庭の思いをしっかりと聞き取り、受け止めることが大切である。
- 教育委員会との連携も大切にし、様々な相談・支援事業を活用する。
- 各学校で職員同士が情報を共有したり、指導や支援について検討したりする時間をしっかりと設ける必要がある。

#### <まとめと今後に向けて>

- 学習ノートや学習の記録等で、何がどの程度できるのか、児童の卒業時までの様子や状態が分かるものを中学校へ引き継ぐ。(個別の支援計画・個別の指導計画)
- 中学校入学前に担任同士が面談を行い、教師同士がつながりをもつ。  
(玉龍中との実施について検討を！)
- 不登校状況にある児童生徒については、保護者とのつながりが無くならないように、継続して連携を図る。(出欠の連絡を取る、家庭訪問、プリントや課題、通信等を渡す 等)
- 支援・相談機関の紹介をする。(カウンセリング、デイサービス、自宅への学習支援員の派遣等) また、教育委員会との連携も大切にし、様々な相談・支援事業を活用する。
- 支援学級担任が一人で抱え込まないよう、いろいろな先生が関わり、連携していく。  
→ 全校体制での支援  
…職員同士が情報を共有したり、指導や支援について検討したりする時間を設ける。

## 【保健・給食指導】

<b>1 タブレットのルールについて</b>
清水小…外で遊ぶことが減ったため、ルールを検討中 大龍小…雨の日に限り、2校時の休み時間と昼休み時間の使用を認めている。
<b>2 コロナ感染症対策について</b>
清水小…今年度から、音読・体温・体調をまとめて1つのカードにした。 大龍小…各教室にアルコールを置いている。階段の手すりやドアノブの消毒 清水中…生活の記録に体温チェック
<b>3 給食時(黙食)について</b>
清水小・大龍小・清水中…音楽を流す。 玉龍中…洋画や日本昔話等のDVDを視聴する。
<b>4 児童生徒・保護者の心の中の読み取りについて</b>
清水小…心配事や不安を読み取るため、2か月に1回すっきりシートをしている。 玄関先で家庭訪問。希望者は教育相談。 大龍小…朝の活動でいじめアンケートの実施(毎月)。気になる子は、個別相談 全家庭15分ずつ教育面談(5・6月) 清水中…年に6回ストレスマネジメント(広報部の放送により) 全家庭教育相談 玉龍中…講師を呼び、ストレスマネジメント。年3回面談
<b>5 給食(時間・残食)について</b>
清水小…6年生は、1年生のお手伝い等もあり、早く食べ終わり残食も少ない。 豆類・海藻類キビナゴ等の残食が多い。 大龍小…時間通りに給食を切り上げているため、メニューによっては食べるのが 遅くなり、残す場合もある。 清水中…自分に与えられた分を食べきれることを目標にしている。 玉龍中…食べる時間の確保が難しい。
<b>6 熱中症対策について</b>
清水小…体育で外の場合は、マスクを外している。校外学習では、「苦しいとき には外しなさい。」と声かけを行っている。しかし、取らない子もいる ため、水分補給の配慮をしている。 大龍小…体育の時間は、マスクを外してもよいと声かけをしている。 清水中…集団行動等、距離が近いときはマスク着用。屋外では、マスクを外して もよい。水筒は、通年持参 玉龍中…昨年度より今年度の方がマスクを付けている時間が長い。

### <指導助言>

- 残食しないという取組を、生徒指導上の観点から、今年度は行っていない。給食の準備を早く行い、食べる時間の確保が必要。小学校でも準備を早くできるように指導しておく必要がある。

- けがの防止は、指導と管理が一体となったときに効果を発する。  
廊下の水道前がぬれている。→廊下を走らない。（指導）→ぬれない床にする（管理）  
どんな指導をしているか、どんな管理をしているか考える必要がある。
- 換気の実験をした。換気扇を回し、休み時間に窓を開けることが効果がある。
- 熱中症対策として、サッカー連盟が出している熱中症対策が参考になる。意図的に日陰に連れて行ったり、水分を取らせたりするといいい。マスクを取らない子供には、注視しておく必要がある。
- コロナ感染症対策として、行事を中止することは簡単だが、実施するにあたっては、時間と人数でコントロールするしかない。

<まとめと今後に向けて>

- ◎ **引き続き、コロナウイルス感染症対策の徹底を。**  
**（マスク着用、手指消毒、換気、体温チェック等）**
- ◎ **日頃の児童生徒の様子を観察やアンケート、教育相談などで、子供や保護者の悩み事や困り事等がないか把握し、適時対応していけるようにする。**
- ◎ **給食を食べる時間の確保 → 準備を早くできるようにする。**
- ◎ **熱中症対策・・・運動時のマスク着用に注視する。**  
**サッカー連盟の対策も参考にする。**